

平成31年度 海外視察研修派遣事業実施要領

1 目的

県内企業の関心の高い国・地域に視察研修団を派遣し、今後のビジネス展開（投資、輸出、輸入等）の可能性及び課題等について 現地進出企業の操業状況や物流状況、市場その他を通じて調査するとともに、海外の市場や制度を学び、今後の海外ビジネス展開に資する。

2 実施

主催：公益財団法人ひろしま産業振興機構（国際ビジネス支援センター）

3 日程

平成31年4月14日（日）～4月20日（土）

4 参加者

20名程度（事務局含む） ※原則として県内企業または当機構国際賛助会員

5 視察先（視察企業等は予定）

◇オーストリア共和国

○ウィーン近郊

- ・ABA（オーストリア経済振興会社）
- ・ローゼンバウアー社（消防車）、ドーカ社（型枠技術）
- ・メッセ施設（MICE 関連）、スマートエネルギー関連

○リンツ近郊

- ・トロテック社（レーザー加工機）、パルフィンガー社（トラック掲載型折り曲げ式クレーン）
- ・アグラナ社、（食品）、
- ・アースエレクトロニカセンター（デジタルアート）

◇スロヴァキア共和国

○プラチスラバ近郊

- ・サンヨー・パナソニック、曙ブレーキ（日系企業）

6 視察先選定基準

(1) オーストリア

- オーストリアは欧州の中心に位置し、欧州東西を結ぶハブとして国際企業のビジネス拠点多く設置されている。
- ニッチ部門で世界市場をリードする企業や地方で活躍する技術力に裏付けられた競争力の高い中小企業が多くあり、これらのうちの代表的企業を視察する。
- 観光や国際会議などによる経済波及効果も大きいため、文化・コンテンツの発信実例や MICE 誘致の取組の現状について、視察する。
- スタートアップ企業が活躍するためのビジネス環境の整備に当たっての取組を学ぶとともに、スマートシティや再生可能エネルギー利用についての取組も視察する。

(2) スロヴァキア

- 首都のプラチスラバはウィーンから至近の距離にあり、中東欧の諸国の中でも高い成長率を誇り、政治・経済ともに安定し、安全な投資環境が実現している。
- 自動車や電機電子産業関連の集積があり、高い労働生産性と優秀な労働力が確保できるため、多くの日本企業が進出している。スロヴァキアにおける労働環境や工程管理等の事業オペレーションを学び、将来の投資に参考にする。